


学力向上は一瞬で起こる -勉強は集中するトレーニングである-(陰山英男先生)

☆ GOOD?

2565
回閲覧14
GOOD

ツイ いいね! シェア { 1 }

ブックマーク { 0 }

 メールで送る 印刷する

作成者: EDUPEDIA編集部 (Edupedia編集部)さん

1 はじめに

この記事は、平成25年12月23日に行なわれた、徹底反復研究会in滋賀で陰山英男先生がプレゼンテーションされた内容をもとにEDUPEDIA編集者(杉本大昂)が編集しています。

2 陰山メソッドで学力向上改革をしている地域の状況

現在、徹底反復学習で飛躍的に学力を伸ばしている地域は九州です。ここ最近では、福岡県の飯塚市が全市をあげて「陰山メソッド」を導入しています。飯塚市の教育委員会から学力向上のアドバイザーを依頼されたのは、2012年11月の頃でした。そこから学力向上改革に取り組み、現段階で進めている学習スケジュールをすべて辞めてもらい、私が出した方針でやってもらいました。すると、2013年4月に行なわれた学力調査でいきなり成果が出ました。今まで、全国最下位クラスの学力水準だったものが、小学校の国語A・B、算数A・Bとすべての調査において全国平均になりました。とりわけ、国語Aに関しては、いきなり全国平均を超えてしまったのです。

3 学力向上は一瞬で起こる

例えば、子どもたちがダラダラと分数の勉強をしているとしたら、それは分数を学習しているのではなく、「ダラダラを学習している」といえるのです。つまり、行き着いた結論は、「勉強は集中するトレーニングである」ということです。ですので、集中のない学習や授業であれば、やり方を変えなければいけません。そういう意味では、集中することが勉強だという観点からものを考えれば、「いい授業」の視点も変わってきます。

では、どんな授業が集中力や学力を高める授業なのでしょう。それは、「できる」の概念をまず変えることから始まると考えます。私は、「さっとできる」ということが出来て初めて、「できる」と位置づけます。ある小学校で通分の計算のコツを教える機会がありました。そこで、「30秒で1問解けるようにしましょう」ということで、計算問題を子どもたちに解いてもらいました。はじめ、出来たのは30人中2人です。そして、次に裏技を教えました。しかし、30秒以内にできたのは4人でした。通常ならここで、「30秒以内には解けないが、全員出来るようになったのだから」と次の問題に進みたくりますよね。しかし、私はもう一度同じ問題を解かせました。すると、何度も同じ問題を解かせますので、子ども達も、「これならできる!」ということで集中してくるのです。子どもにはその集中力を一瞬のうちに自分のものにして、「突き抜けて」いく瞬間というものがあるんです。その突き抜けに、何回目に出会うかは子どもによって違うのですが、どこかで突き抜けてくるものです。

結局その時は、同じ問題を7回解かせました。すると、30人中28人が30秒で出来るようになりました。こうして次の問題を解かせると、30人中24人くらいの子が30秒以内に出来るようになりました。このように、最高度の集中する瞬間をどう子ども達に与えるのかを工夫することが大切なのです。

では、集中はどのように生まれるのか、その集中が生まれるメカニズムについてお話します。集中しているということ、それはリラックスしているということです。では、リラックスさせるための条件とは何でしょう。それがこの3つです(図1)。

まず1つ目に、やることの見通しが持てること。子どもはやることの見通しが持てれば、教師の授業にもついてきてくれますし、少し難しい問題でも一生懸命解こうと頑張ってくれます。だから教師は、「この宿題をやれば、この問題を解ければ、学力が伸びる」というように自信を持って、子どもたちに宿題を与えたり、問題を提示出来るようにする必要があります。すると、子どもたちも教師を信頼し、前向きに勉強してくれます。

2つ目に、応援されている環境があること。これは子どもだけではありませんよね。誰かに支えてもらっていると分かると、リラックスできます。その環境を意図的に作りあげる工夫が必要です。

会員情報

ようこそ
ゲストさん[ログイン・会員登録](#)
[マイページ](#)
[記事投稿ガイド](#)
[記事を投稿する](#)

特集・注目記事



コーチングのプロ おすすめの教育実践

やる気の秘密 / ト라우マ・ストレス対処



協力募集



先生・教育関係者の方へ

あなたの実践をEDUPEDIA
に掲載しませんか?

そして最後に、成功体験があることです。よく、成功体験という汗と涙、努力した上での成功というように、スポコンアニメのようなものだけが成功体験のように思われます。しかし、例えば、1+1は？「2」と子どもが答えたら、「おお！すごいなー！」と言って驚いてあげるだけでも十分な成功体験になるのです。だから、どんな小さなことでもいいので、成功体験を持たせるように工夫してみてください。

図1 ↓

集中力が生まれる条件

1.緊張は集中を阻害する

2.リラックスが集中の土台

リラックスの条件

やることの成果に見通しを持っていること

応援されている環境があること

成功体験があること

4 学力は「宿題」で決まる

よく、学力は授業で決まるといわれますが、確かに、それも重要です。しかし私は、宿題も非常に大切だと考えています。なぜなら、最終的に問題は自分で解かなければならないからです。

宿題は基本的に一人でやりますよね。だから、宿題をする中でその日1日の授業内容を確実に理解・習得しておかなければいけません(図2)。そういう点において、教材作りが学力向上の要になってくるのですが、私が作成した陰山ドリル(問題プリント)と普通のドリルの違いは何なのでしょう。

普通のドリルは、教科書や学習指導要領を見て作られています。しかし私の場合は、授業中に「この子はここができていない。この子はここが苦手。全体的にはここの理解が甘い」などということを考えながら子ども達を観察します。そして授業終了後、その子ども達の状況をもとに、わずか5分から10分の時間でプリントを作っていました。つまり、「子どもの実態に応じた問題プリントを作っていた」のです。だから、皆さんも子どもたちのつまずきに応じたドリルを作って欲しいと思います。

図2 ↓

学力は〇〇で決まる

● 学力は宿題で決まる

● ひとりでどこまでできるか

● 授業とはひとりでできるようにしてあげることが目当て

● 学力作りは教材作り

● 問題集は教科書やカリキュラムを見て作られる

● 自作プリントは子どものつまずきを見て作られる

● 雑でもいい、すぐ作るのがコツ

5 編集後記

私は、立命館大学にいたころ「厳しい教育環境(文化的・経済的に低位の)にある家庭の子どもの学力はいかにして下支えすればいいのか」という研究をしていたので、陰山先生の学力向上に関する理論や実践、メソッドはとても興味深いものがありました。「勉強は集中するトレーニングだ」や「学力は宿題で決まる」という教育実践を理論化した発言は、とても具体的であるとともに説得力がありました。この先生のプレゼンテーションでは、大学の授業では味わえない現実 に即した一味違ったお話を聞くことができました。

平成26年5月14日 EDUPEDIA編集者：杉本大昂

メンバー募集！

全国の先生を支えるWEBメディアの運営に関わりませんか？

アクセスランキング

「ごんぎつね」で新美南吉は何を伝えたかったか

通信簿の所見【親子が元気の出る「そのひと言」文例集139】

「やまなし」で宮沢賢治が伝えたかった事は？

卒業文集の書き方指導

子どもとゲーム機「3DS対策」を考えよう【ネットトラブル・ネット依存から女子も男子も守るため】2015年3月追加

水泳指導～25mをとにかく泳がせる

教育実習へ行く学生へ 礼状の書き方

教育実習へ行く学生へ 挨拶例文・持ち物リスト

授業中における指名の方法

繰り返し漢字テスト

もっと見る>>

評価の高い記事

担任している子どもが入院したら？ ～病弱教育からのお願い～

授業中における指名の方法

震災後の心を支えるエクササイズ（八巻寛治先生）

「やまなし」で宮沢賢治が伝えたかった事は？

水泳指導～25mをとにかく泳がせる

繰り返し漢字テスト

「話し合い活動」の分析を！

「ごんぎつね」で新美南吉は何を伝えたかったか

「みんなでとぼう！リズムなわとび」久保田正己先生

「言葉引用し活かす力」の育み（渡邊信二先生）

もっと見る>>

新着記事

「ゲームはよいか悪いかな？」で、道徳の時間にディベート

「生き物は円柱形」国語・説明文 教材研究資料

すべてのことはメッセージ～ノンバーバルコミュニケーション

徹底する事～授業経営で・学級経営で

6 講師プロフィール

1958年兵庫県生まれ。岡山大学法学部卒。・兵庫県朝来(あさご)町立(現朝来市立)山口小学校教師時代から、反復練習や規則正しい生活習慣で基礎学力の向上を目指す「陰山メソッド」を確立し脚光を浴びる。

ツイー いいね！ シェア 1 ブックマーク 0 メールで送る 印刷する

公開日：2014/6/12 6:51 (更新日：2014/7/2 16:17)

カテゴリ：授業運営

キーワード：陰山英男 陰山メソッド 徹底反復研究会 学力 学力向上 集中力 宿題 成功体験 リラックス

EDUPEDIA

このページに「いいね！」 2218 いいね！の数

「いいね！」した友達はまだいません

コメント

コメントはまだありません

より良い実践のためには、あなたの励ましや建設的な対案が欠かせません。
ログインして、ぜひコメント欄をご活用ください。

ログイン 会員登録

体育授業の主旨～お互いが成長する体育を目指して

廊下を歩こう ～委員会活動～

川から環境をかんがえよう～(ESD環境教育プログラム・宮崎県)

つながりに気づく、つながりを築く ～ふるさと伏見川を守り続けるためには～(ESD環境教育プログラム・石川県)

【朝の会、帰りの会のネタ】②「あいうえおのうた」 日々の授業・学級経営で生かせるアイデア～みんなのミニネタ集～

昆虫のすみかと食べ物3 (シリウス)

もっと見る>>

キーワード

外国からの輸入 バンフレット 食料の生産 農林水産省 食料自給力 食料自給率 スケジュール 予定 アレクサンダとぜんまいねずみ アレクサンダとぜんまいねずみ 伊良部 係活動・当番 係活動 ESD出前講座 ヒノキアスナロ 理科第1分野 児童会 ホームルーム活動 消費者教育 家庭基礎 現代社会 争点学習 選挙運動 政治活動 政治教育 江支持教育 模擬選挙 多民族社会 意思決定 政治的無関心

もっと見る>>

カテゴリー

- 国語 技術 算数 理科 社会 生活
- 体育 図工 音楽 家庭科
- 外国語活動（英語） 特別活動
- 総合的な学習 道徳 生徒指導 授業運営
- 学級経営 家庭との連携 地域との連携
- 教育事務 特別支援 シンポジウム
- コラム その他・全般 ゲーム・遊び
- 話のネタ 水泳

トップページ | ランキング | 新着 | EDUPEDIAとは | お問い合わせ | プライバシーポリシー | 利用規約

カテゴリ	国語	技術	算数	理科	社会	生活	体育	図工	音楽	家庭科
	外国語活動（英語）	特別活動	総合的な学習	道徳	生徒指導	授業運営	学級経営	家庭との連携	地域との連携	教育事務
	特別支援	シンポジウム	コラム	その他・全般	ゲーム・遊び	話のネタ	水泳			

Copyright © 2009-2015 EDUPEDIA. All rights reserved.